

NOTES & NEWS



2015. 2発行 第18期2号 通巻53号

2014~2015年度 西日本区メネット事業主題

私にできること… あなたにできること…

心の声に耳を傾け メンとメネット 二人三脚で いきましょう!

What I can do for you... What you can do for all...

Let's think of it and do it for all hand in hand with Y's men and Y's menettes!



聖句

イエスは言われた。

『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい』

マタイ22章37節



お元気ですか？

メネット事業主任 西村 寛子(京都プリンス)

西日本区ワイズメネットの皆様、お変わりなくお元気ですか？

早いもので、ワイズ活動期で言うところの半期が過ぎました。今期はメネット活動の充実のために、「メンとメネット 二人三脚で」とお願いして参りました。各部において、各メネット事業主査の方々がこの点をご理解くださり、各部長との連携を図り、メネット活動にメンのお力添えをいただける環境創りにご努力いただきました。その結果として、期首の各部会においてほとんどの部において、今期のメネット国内プロジェクトである「希少難病問題」を取り上げていただきメネットアワーとしてのみならず、部会そのものの講演等に組み込んでいただくなど、多くのメンにメネット事業への関心を持っていただく機会を作っていただきました。感謝です。

今期メネット国内プロジェクトは「希少難病問題」への関心と支援の為に「Universal Field」の活動支援をお願いして参りました。残念なことに、この団体に対する好ましからざる報道がなされた事を踏まえ、西日本区役員の皆様のご意見を尊重し、当該団体への直接的な支援は差し控えることとなりました。メネットの皆様には、問題発生から最終的な部の判断をお伝えするまでに時間がかかり、大変なご心配をおかけいたしました事を心からお詫び申し上げます。しかしながら、種々の機会に患者である中岡亜希様のお話を聞いて頂いた方も多く、メネット国内プロジェクトが目指している支援に揺らぐところがない事はご理解いただいているものと確信いたしております。この点、西日本区役員の方々にもご理解いただき、「希少難病問題」への支援継続という事で、新しい支援先を、すでにお知らせいたしておりますように、東海大学の佐藤ユニットとさせていただきます。詳細につきましては本冊子内の記載をご確認ください。期首よりお寄せいただいております皆様からの支援金は希少難病研究のための一助としてお使いいただく事になっております。下半期も。継続的なご支援を賜ります様、お願いいたします。各部各クラブにおきまして、メネットの皆様にはメンと共に、支援の継続的なあり方を是非ご検討頂きたいと思っております。

今期国際プロジェクトに関しましては、新しいプログラムという事で各国への連絡が遅れ、皆様にお伝えするのが大変遅くなりご迷惑をおかけいたしました事お詫び申し上げます。国際プロジェクトは今期より複数期の継続事業となります。その支援先は

- 1.ブラジル・サンパウロ:プロジェクトを通しての技術支援
- 2.インド・ケララ州:未亡人と貧しい女性のためのワイズメン農業復興プロジェクト
- 3.ID(国際メネットディレクター)活動支援金

となっております。ご理解の上、ご支援をお願いいたします。

毎月多くのクラブから、プリテンをお届けいただいております。その記事を拝見しておりますと多くのクラブ内で、メネットの方々がムードメーカーとして素敵なお働きをしてくださっていることが窺えます。ワイズにおける最も大切なメネットの役割はここにあると改めて思う次第です。しかしながら同時に、それぞれの部・クラブにおいて、メネット活動・メネット事業に対する問題を抱えておられ、それぞれに悩んでおられる様子もうかがえます。忌憚のない意見をクラブから部へ、部から区へと挙げていただき、今後のメネット活動のより良い方向性を皆で考えていきたいと思っております。

下半期も「わたしにできる事…あなたにできること…心の声に耳を傾け メンとメネット 二人三脚で行きましょう!」



響き合い、ともに歩む

西日本区理事 松本 武彦(大阪西)

メネットのみなさま、こんにちは。ワイズ活動へのみなさまのご支援、ご協力に感謝します。今年度メネット報第1号における私からのメッセージはその表題を「ワイズ運動をメネットとともに」とさせて頂きました。今期も、部会などワイズの集いにメネットのみなさまの多くのご参加を得て、ワイズの集いが身近で楽しいものとなっていることを実感させて頂きました。これは、私の理事主題「響き合い、ともに歩む」を実現するものでもあります。

ワイズメンズ運動においてはYMCAや地域社会、国際社会への奉仕活動が大きな柱であり、ワイズはこれらの奉仕活動を通じて自己研鑽の機会と喜びを得ております。この喜びは、奉仕活動に対する感謝を受けての喜びに止まらず、このような助け合い社会が出来ていくことから得られる安堵感にも繋がるものであります。ワイズ運動では活動の主体はクラブであり、クラブはYMCAや地域社会、国際社会からの求めを知り理解してその奉仕活動を展開してゆきます。西日本区は、地域社会などからのこのような求めを知り理解するために必要な啓発活動をメネット事業として取り上げ、展開しています。西日本区が展開するメネット事業では、その国内プロジェクトや国際プロジェクトにおいて、社会に起きているひずみを取り上げてその理解や支援のための報告会などを開催し、西日本区内のクラブが、これに応じて、自らの奉仕活動としてこれを取り上げることとなれば、ワイズ運動における奉仕活動が人の世に大きな意義を持つものとなります。

今期、多くの部において部会に併せてメネットアワーが持たれ、本年度のメネット事業国内プロジェクトである「希少難病患者の現状理解と支援」についての講演会が開かれて、参加者に、世の目が届かなくて困窮している人々がいること、このようなマイノリティー問題の解消に働きかけることもワイズメンズクラブの地域社会への奉仕活動のひとつとなることを知って頂くことができました。ただ、この支援にかかわる団体に対する残念な新聞報道があったことから、第2回西日本区役員会で、この支援団体への献金活動はせず、希少難病対応の研究への献金活動をしてゆくことが決まり、啓発活動は引き続き行ってゆくこととしました。メネットのみなさまの変わらぬご理解とご協力、よろしくお願い致します。

第18回 西日本区大会メネットアワー開催のお知らせ

日時 2015年6月13日(土) 10:15～12:15

場所 大阪南港ATC(アジアトレーディングセンター)6階

講演 「希少難病研究の現状と展望」

東海大学医学部基礎医学系生体防御学准教授 佐藤健人先生

参加費 2,000円(お弁当とお茶代を含む)

多くのメネットの皆様にお会いできることを楽しみにしております。

各部主査よりごあいさつ



メンとともに積極的な活動

中部メネット主査 山内 ミハル(金沢)

中部9クラブのうち、メネット会が組織されているのは名古屋クラブと金沢クラブ2クラブだけ。両クラブとも毎月メネットの例会が開かれており、数名が参加しております。

また、メンの例会にも参加し、年1回メネットナイトとしてメンの例会の企画・運営をメネットが行っています。その他名古屋クラブは重度障害者施設のクリスマス会、金沢クラブではYMCAの子どもたちを招いて芋煮会を、メンの協力を得

て行っています。しかし年々高齢化と新入会者が望めないため、交流活動や新企画が困難になってきているのが両クラブの課題となっています。

その他メネット会が組織されていないクラブでは、メンの活動に積極的に協力・参加されており、四日市クラブでは、YMCAのバザー&幼児園まつり、コカリナ音楽会、チャリティーウォークに協力。名古屋グランパスクラブではキャンプ場ワークの他YMCAの大きな行事(バザー、チャリティーラン、クリスマスキャロル)に参加のほか、イベントで東北の物産販売に協力されています。金沢犀川クラブでは9月メネット強調月間特別例会として庭園めぐりで多くの女性ゲストを招かれたということです。その他のクラブからはご報告がありませんでしたが、全体としては8月部会で、メネットアワーを設定していただき、今期のメネット事業「希少難病患者の支援」のアピールを行いました。4月には金沢で「合同メネット会」を開催することにしており、楽しみながらその準備にあたっております。

ただ、金沢の2クラブだけが遠隔地にあるため、フルタイムで仕事を持っている者にとっては、時間的にも経費的にも他クラブとの交流が思うようにできず、悩みの種となっています。



メネット事業上半期活動報告と下半期活動予定

びわこ部メネット主査 山本 洋司(彦根シャトー)

メネット事業主査をお受けし、各クラブのメネット会長・連絡員のお名前を確認し、各クラブメネット活動計画のアンケートを取らせていただいた。その後部長公式訪問に同行し、今期メネット事業について説明をさせていただいた。そして9月21日開催のびわこ部会にてメネットアワーを開催し、今期メネット国内プロジェクト「希少難病患者の理解と支援」の為、講演・説明をいただき、参加者より事業への多く

のご支援を賜った。皆様からの支援金は東海大学基礎医学系生体防御領域の佐藤ユニットに寄贈され、希少難病研究の一助としていただく事になっている。

希少難病患者の支援は、一度の寄付でOKという事業ではない。今期だけで終わるのではなく、継続的にサポートしていけたらと思う。今後どのような支援が必要かを、メネット事業としてだけでなく、部・各クラブの事業として考えていただけると良いなと願っている。

下半期には、メンバーとメネットの友情の輪を広げることを目的とし、さまざまな参加型の事業を計画している。1月17日(土)には、びわこメネット料理教室を開催。その他、コクヨ工業・キリンビール工場見学を計画。部内クラブと共に活動に参加し協力していくことを考えている。



半期を振り返って

京都部メネット主査 国松 和子(京都トウビー)

去る10月31日 ラクーオ(松原河原町西入)にて、京都部メネット懇親会を開催いたしました。18名の方々に参加いただき、参加者全員が笑いの絶えない楽しい食事会となりました。

懇親会の内容としましては、

・今期国内プロジェクトの献金に関してのこれから…と、来る2015年1月24日に予定しておりま

す京都部合同メネット会のご案内などです。

今回、木村まさ子様の講演テーマは「伝えたい言葉」。「食べる事の大切さ」、「食」を通して2人のお子様を育てたお母さんの思いがたくさん詰まった大変素敵なお話をして頂く予定です。そしてこの合同メネット会を通して今期私自身の活動テーマである、「メネット同士がクラブの枠を超えて結びつき、メンバーである主人達の活動、ワイズメンズクラブをサポートし、他の方々にもこの活動を知っていただきたい」との思いをお話しさせていただきました。

来る講演に際してご協力いただいている各クラブのメンバー、メネット、メネットのお知り合いへのお声掛けのおかげでお手伝いいただける京都部メネットの皆様とツービーメネットが一体になり、大変ながらも着々と準備を進めております。1月24日が皆様の思い出に残る会となり、そして私自身もこの大役が皆様のご協力の元、無事に終わることを祈りつつ頑張っております。

また、この準備のためにお忙しい中、ご足労いただき、アドバイスやチケットの手配などのお手伝いをしてくださった京都部メネットの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

この場をかりてお礼を申し上げます。



メネット国内事業 阪和部上半期活動報告

阪和部メネット主査 土橋 哲(和歌山)

上半期の阪和部メネット事業としては2014年9月13日(土)第26回阪和部会「メネットと共に～共にひとつの“わ”になって」を開催したことが大きな成果として掲げられます。日頃、メネットの参加が少ないクラブ例会をされているところが多いことへの懸念と楽しくそして学べる例会開催のヒントになればとの思いから、和歌山クラブ全体で「メネットと共に～共にひとつの“わ”になって」を運営しました。運営方針としては登録費を安価に設定して幅広くメネットの参加を呼び掛けようという考えを打ち出しました。しかし、もう一つインパクトが弱かったのか「共にひとつの“わ”になって」までの大きな波(わ)にはならなかったようでした。メネット会の今後には少なからず阪和部は危機感を抱いています(メネットの減少・高齢化による活動の弱体化)各クラブ、現状での拡大を考えるのか、または新たなメネット会のシステム構築がいいのか常に思案しているところです。



私としては下半期にもう一度各クラブのメネット会を盛り上げるアドバンテージとして、新たなメネット国内事業の支援先への理解を求めていただける施策(希少難病及び治療方法の理解など)を考えていきたいと思っています。そして微力ですが残りの下半期、大いにメネットとの交流(参加呼びかけ)を行い何とか現状打破ができるような活動をしていければと思っています。



中西部メネット活動報告

中西部メネット主査 林 恵美子(大阪セントラル)

・上半期

2014年9月20日、中西部会の前に大阪天満キャッスルホテルでメネットアワーを開催しました。61名の出席者があり、NPO法人「SORD」(希少難病患者支援事務局)代表理事である小泉二郎氏と、副代表理事で希少難病患者でもある中岡亜希氏を講演者に招聘して盛会の内に終えることが出来ました。出席者の殆どは希少難病患者さんのことを知らないご様子で、特に中岡さんのお話に衝撃を受けると同時にそのお姿に深く感銘を受けられた模様でした。

中西部メネット会としてもその思いを受け止めて、今回のメネット事業で端緒となった希少難病患者支援を何らかの形で今後も継続させたいと願うものです。

・下半期

上半期に引き続き希少難病患者支援に取り組みたいと考えます。西日本区大会におけるメネットアワーで東海大学医学部基礎医学系生体防御学佐藤健人准教授の講演もお聴きして更に希少難病の知識を深め、支援事業に活かしたいと思っています。

今後も事業を継続するにあたり、YMCAやワイズメンズクラブに繋がるメネット



の立場であるからこそ希少難病患者さんのことを伺い知り、ささやか乍らその支援ができるのだと改めて思いました。メネットであることに感謝をしたいと思います。



支援の輪を広げるために

六甲部メネット事業主査 大野 智恵(神戸ポート)

前期は、各クラブ例会において希少難病と希少難病患者の現状を学ぶというものでした。各クラブそれぞれに予定や事情がありましたので、クラブの実情に合った講師による学習会がもたれました。治療法もまだ見つからないまま苦しんでおられる難病患者さんのお話を伺ったことは、支援の必要性を更に感じるものとなりました。

後期は、ワイズ以外の方にも希少難病について知っていただくために「チャリティーコンサート・講演会」を開催します。患者の方々にも来ていただき、バリアフリーの楽器マリアハーブの演奏と兵庫県立長田高校音楽部による澄んだ歌声で心癒していただけます。会場は、兵庫県庁南の神戸栄光教会です。できるだけたくさんの方に足を運んでいただき、希少難病とはどういうものなのか、より多くの方に関心を持っていただく機会になればと思います。

4月4日(土)14時開演予定。桜見頃の春の神戸観光を兼ねて、コンサートにお越しください。



メネット独自の活動は水面下

瀬戸山陰部メネット主査 山根 博子(鳥取)

瀬戸山陰部では、メネット会が5クラブとも有りません。各クラブのメネット委員の方も、メンの女性会員が兼務しておられます。その為に、各クラブともメネット活動が行われていない状況です。部長訪問に同行させて頂いて各クラブの例会に出席しましたが、メネットの方が参加されているクラブは少ししかありませんでした。ただ、メネットさんがメンの奉仕活動に参加・協力されているクラブはあります。このような事がどのクラブも永年続いているようです。今後、どのように取り組んで

いけるか、これからのメネット会の課題だとつくづく感じています。

さて、第2回瀬戸山陰部評議会(4月4日(土))にメネットアワーを設けて、国内プロジェクトの希少難病患者支援事務局の方をお招きしての講演会を計画していましたが、西日本区より支援先が変更になったとの事で、メネットアワーをするかどうか、現在クラブ内で検討していて、未だ決まっていませんが、何らかの形で開催出来る様にしたいと思います。部会では、皆様のご協力でメネット事業に5万円の献金をする事が出来ました。有難うございました。



上半期メネット活動報告

西中国部メネット主査 赤羽 秀美(広島)

今期メネット事業国内プロジェクト「希少難病患者」の支援活動を進めています。

去年9月に岩国で開催された西中国部の部会で「希少難病患者の現状について」講師や難病患者を招き、講演していただきました。患者ご本人から直接お話を伺い、改めて支援の必要性を痛感しました。

支援のファンド作りとして我々メネットにできることを色々思案していた時に元パティシエの存在を知りました。彼女から本格的な菓子作りを教わり販売したらどうかという提案をメネットにしたところ、皆が賛同してくれました。

去年11月に「ケーキ講習会」を開き、ケーキやクッキー、可愛いラッピングも教わり、1月に開催される新年合同例会で販売することにしました。一時期、菓子作りに必要なバター不足が深刻になっており、品切れ状態が続いていたので必要量の調達ができるか気がかりでしたが、解消への対策が取られたお蔭で確保することができました。

来る合同例会日前にメン・メネットに再び集合してもらい、販売用の菓子を一齐に焼く予定です。そして例会当日「希少難病患者」の支援活動への協力を呼び掛けることにしています。



九州部前期メネット事業活動報告

九州部メネット主査 亀浦 尚子(熊本にし)

1. メネット国内プロジェクト 希少難病支援メネット事業広報活動を行った。
・7月キックオフ例会を皮切りに、メネット事業を九州部各クラブのメン、メネットに知って頂く為、希少難病資料CD

を各クラブに配布し勉強して頂くよう呼びかけた。

2. 9月9日 熊本ジェーンズクラブメネット強調月間において希少難病資料CDをもとに、金澤知徳会長(医師)の卓話でメネット例会を開いた。

3. 9月28日 九州部長in天草においてメネットアワーを開催した。

松本武彦西日本区理事、西村寛子メネット事業主任をはじめ、大阪、京都、鹿児島、熊本のメネット43名の参加があった。

西村メネット事業主任より、今期希少難病支援事業をメン、メネット共に西日本区をあげて支援の呼びかけ、支援金の使い道の説明をして頂いた。

熊本みなみクラブの杉野茂人ワイズ(小児科医師)により、卓話をして頂いた。介護、介助の大変さ、経済的支援問題などの現状を、自分達で声を発せない小数の弱い患者さんの代弁を医師達はしなければいけない、ワイズメン、メネットの皆様も何が出来るか考えて欲しいと呼びかけられた。

4. 11月6日 熊本地区合同メネット交流会をむさしクラブのホストで開催した。西村メネット事業主任、森メネット会計、鹿児島クラブの中松、園田メネット、熊本のメン、メネット約80名の参加があった。

・中岡亜紀氏より仲間をつくってつらい現状を乗り越え活動されている話を聴かせて頂き、胸を打たれた会となった。

前期において希少難病への理解は広まりましたので、後期活動で支援の輪を広めていきたいと思ひます。ご協力お願いします。



九州部会メネットアワー



杉野ワイズ卓話



中岡亜紀氏卓話



熊本地区合同メネット交流会



メンと共に メネットはワイズの応援団

次期メネット事業主任 遠藤典子(大阪泉北)

主人がワイズメンズクラブに入会させていただいて18年ほどになります。主人は入会して3年目にクラブ会長をさせていただきました。その折、阪和部のすべてのクラブを訪問させていただいた主人は、他のクラブのメネットの皆様のお働きについて、熱心に私に話しをしてくれました。他のクラブのメネットの皆様は例会の都度、食事やお茶のお手伝いなどをされていることなどです。

そして、メンと共に例会に出席して、奉仕活動をさせていただくことがワイズメンズクラブの特色であることを話してくれました。泉北クラブではメネットさんのクラブ例会の出席率は決して良い方ではございませんが、行事がある都度メネットの皆様が参加され、交流を深めています。私も他クラブの例会や西日本区の各部会に参加させていただくようになり、たくさんのメネット、メンの皆様とお知り合いになることが出来ました。主人がよくする話題に、ワイズの魅力、醍醐味はやっぱり交流にあると申しております。私もそう感じております。

ワイズメンズクラブの歴史のなかで、先輩のメネットの皆様が慈愛に満ちた支援活動や研修活動を精力的にされてきました。微力ではございますが皆様のお力添えをいただいき、メンに寄り添ったメネット事業を進めてまいりたいと存じます。今後ともどうぞ宜しくご指導をお願い申し上げます。

メネット国内プロジェクト「希少難病患者支援」支援先

東海大学 医学部 免疫学教室 基礎医学系 生体防御学領域
佐藤ユニット(佐藤健人准教授)

研究内容1.iPS細胞とゲノム情報を用いた希少難病の研究基礎整備
2.細胞の分化と増殖の統合的制御機構の解明

佐藤健人准教授プロフィール

1961年9月7日生 東京都出身

1986年 東京大学理学部生物化学科 卒業

1991年 同大学院理学系研究科博士課程(生物化学) 修了

1993年 東京大学理学博士

2007年～東海大学医学部免疫学教室基礎医学系准教授

所属学会:日本免疫学会(評議員)

日本分子生物学会

日本再生医療学会

クレージーな研究者

東海大学医学部准教授 佐藤健人

望んで病になる人はいませんが、患者はまた、病を選ぶ事が出来ません。治る病気、治らない病気。——そして、知られている病気、稀な病気。

私の場合は治る病気でした。中学一年の頃、原因不明の眼病で失明寸前に。幸い視力は回復しましたが、それから2年近く、「半病人」の生活を送りました。休学中には励ましの便りをくれた同級生も、復学後の青白い半病人には辛くあたる事もしばしば。病気は、それ自体の苦しみの他に、社会的な辛さが伴う事を学びました。このときの経験が無ければ、私は違う人生を歩んでいたことでしょう。

厚労省の指定から漏れた、希少難病の患者さんたちとのつながりが出来たのは6年前の事です。皆さん、病気そのものの辛さ・苦しさも相当なものでしたが、社会的要因から来る苦しさも深刻なものでした。何軒もの病院を回っても診断がつかない。親身になってくれる医師に出会えない。自分の病気がどういう病気だか、誰も教えてくれない。自分の病気を研究しよう、治そうという学者、製薬会社もいないらしい。行政の指定から漏れた病気は、我が国には「存在しない」事になっている? なんと疎外感!

彼らの苦しみに比べれば、私の体験など取るに足らないものです。しかし、私には人ごとに感じる事は出来ませんでした。基礎医学・免疫学の研究者として遠回りをしてきましたが、少しでも、希少難病に苦しむ人に励ましを送る人生を歩みたいと、ささやかな努力を始めています。

昨今、患者のゲノム情報の解析技術と、患者由来の細胞を研究に応用する技術(特にiPS細胞)は革新的な発展を遂げました。患者が希少であるという「物理的」理由で研究できなかった難病も、新しい技術を用いれば研究する事が可能になります。研究できない理由は、もはや社会的な制約でしかありません。この困難を乗り越えるのは、制度云々ではなく、つまるところ患者の思いに共感し同苦する私たち一人一人の「思い」によるのだ、というのが現在の私の実感です。研究といっても、7000ともいわれる希少難病を、直ちに治す訳にはいかないでしょう。それでも、「今まで無視されて来た私たちの病気を、予算も無い中研究しようといってくれる、クレージーな研究者がいる事を知って嬉しい」と言ってくれた患者さんやご家族に、私たちの思いは届くと思います。

2014～2015年度 ネット事業支援金 (2015年1月28日現在)

部	クラブ名	国内プロ	国際プロ	RSD	計
中部	金沢	0	0	0	0
	名古屋	15,000	2,000	3,000	20,000
	名古屋東海	4,000	4,000	2,000	10,000
	名古屋南山	0	0	0	0
	四日市	0	0	10,000	10,000
	名古屋プラザ	4,000	3,000	3,000	10,000
	名古屋グランパス	0	0	0	0
	津	0	0	0	0
	金沢犀川	5,000	3,000	2,000	10,000
	小計	28,000	12,000	20,000	60,000
びわこ部	近江八幡	5,000	3,000	2,000	10,000
	彦根	2,000	2,000	2,000	6,000
	彦根シャトー	8,000	1,000	1,000	10,000
	長浜	10,000	5,000	5,000	20,000
	草津	5,000	3,000	2,000	10,000
	滋賀蒲生野	0	0	10,000	10,000
	大津	0	0	0	0
	小計	30,000	14,000	22,000	66,000
京都部	京都	0	0	0	0
	福知山	0	0	0	0
	京都パレス	0	0	0	0
	京都ウエスト	0	0	0	0
	京都めいぶる	5,000	5,000	5,000	15,000
	京都キャピタル	0	0	0	0
	京都プリンス	15,000	0	0	15,000
	京都センチュリー	0	0	0	0
	京都ウイング	0	0	0	0
	京都洛中	10,000	5,000	5,000	20,000
	京都エイブル	5,000	0	5,000	10,000
	京都グローバル	0	0	0	0
	京都みやび	0	0	0	0
	京都トップス	0	0	0	0
	京都トゥービー	0	0	0	0
	京都東陵	0	0	0	0
	京都ウェル	0	0	0	0
京都ZERO	0	0	0	0	
小計	35,000	10,000	15,000	60,000	
阪和部	和歌山	10,000	0	0	10,000
	奈良	0	5,000	5,000	10,000
	大阪サウス	0	0	0	0
	大阪堺	0	0	0	0
	大阪河内	0	0	0	0
	大阪長野	0	0	0	0
	大阪泉北	0	0	0	0
	和歌山紀の川	5,000	5,000	3,000	13,000
小計	15,000	10,000	8,000	33,000	

部	クラブ名	国内プロ	国際プロ	RSD	計	
中西部	大阪	0	0	0	0	
	大阪土佐堀	0	0	0	0	
	大阪千里	0	0	0	0	
	大阪高槻	5,000	3,000	2,000	10,000	
	大阪セテニアル	0	0	0	0	
	大阪西	10,000	0	2,000	12,000	
	大阪茨木	0	0	0	0	
	大阪セントラル	5,000	3,000	2,000	10,000	
	大阪なかのしま	5,000	5,000	0	10,000	
	小計	25,000	11,000	6,000	42,000	
六甲部	神戸	10,000	5,000	5,000	20,000	
	西宮	0	0	0	0	
	神戸西	0	0	0	0	
	神戸ポート	10,000	5,000	5,000	20,000	
	宝塚	10,000	5,000	5,000	20,000	
	さんだ	0	0	0	0	
	神戸学園都市	0	0	0	0	
	芦屋	0	0	0	0	
	小計	30,000	15,000	15,000	60,000	
	瀬戸山陰部	姫路	10,000	3,000	5,000	18,000
岡山		10,000	0	5,000	15,000	
鳥取		0	0	0	0	
姫路グローバル		6,500	0	0	6,500	
米子		10,000	6,000	4,000	20,000	
小計	36,500	9,000	14,000	59,500		
西中国部	広島	8,000	2,000	2,000	12,000	
	福山	5,000	3,000	2,000	10,000	
	呉	0	0	0	0	
	東広島	0	0	0	0	
	岩国	5,000	2,000	3,000	10,000	
	岩国みなみ	0	0	0	0	
	小計	18,000	7,000	7,000	32,000	
	九州部	長崎	3,000	5,000	2,000	10,000
		熊本	5,000	5,000	10,000	20,000
		北九州	0	0	1,000	1,000
福岡中央		4,000	4,000	4,000	12,000	
熊本ジェーンズ		10,000	5,000	5,000	20,000	
博多オーシャン		0	0	0	0	
八代		5,000	5,000	5,000	15,000	
鹿児島		0	0	0	0	
熊本むさし		5,000	5,000	5,000	15,000	
熊本みなみ		0	0	0	0	
宮崎	0	0	0	0		
熊本ひがし	5,000	5,000	5,000	15,000		
阿蘇	5,000	0	0	5,000		
熊本にし	5,000	5,000	5,000	15,000		
熊本ヤング	0	0	0	0		
熊本スピリット	0	0	0	0		
小計	47,000	39,000	42,000	128,000		
総計	264,500	127,000	149,000	540,500		

西日本区ネット事業 募金集計表 (部会ほか)

日付	部	クラブ	金額	摘要
2014.08.31	中部部会		42,643	部会募金
2014.09.08		奈良クラブ	15,000	例会にこにこ
2014.09.11		神戸ポートクラブ	17,000	例会募金
2014.09.13		阪和部会	69,714	部会募金
2014.09.14		京都部会	102,318	部会募金
2014.09.17		芦屋クラブ	21,000	例会募金
2014.09.20		中西部M77-	38,000	募金
2014.09.20		中西部部会	27,162	部会募金
2014.09.21		びわこ部M77-	19,000	募金
2014.09.21		びわこ部会	41,890	部会募金
2014.09.25		京都ウエストM例会	15,080	募金
2014.09.25		京都ウエストM例会	10,000	金沢様講師料

2014.09.25	京都ウエストM例会	13,100	ニコニコ
2014.09.27	大阪泉北クラブ M会	12,645	募金
2014.09.27	西中国部会	73,286	部会募金
2014.09.28	九州部M77-	30,143	募金
2014.09.28	九州部会	30,004	部会募金
2014.09.28	北九州クラブ	9,000	オークション利金
2014.10.02	京都プリンスM会	9,428	ファンド事業
2014.10.10	瀬戸山陰部会	50,000	部会募金
2014.11.02	京都トゥービー・ZERO クラブ後援ワイドデー	115,000	寄付金
2014.12.30	京都プリンスM会	22,500	ファンド事業
2015.01.24	京都部合同M会	29,652	募金
	合計	813,565	

2014~2015年度 西日本区各クラブのメネット会長及び連絡員

2014.7.1 現在

中部	金沢	数澤 淑子	阪和部	和歌山	市川 美智子	瀬戸山陰部	姫路	山本 聡子	
	名古屋	伊左治 クミ子		奈良	松田 重子		岡山	水谷 純子	
	名古屋東海	松本 淳子		大阪サウス	有田 和子		鳥取	生田 啓子	
	名古屋南山	クラブ会長		大阪堺	谷川 一人		姫路グローバル	魚住 美保	
	四日市	阪本 則子		大阪河内	大藪 暢子		米子	山崎 光子	
	名古屋プラザ	クラブ会長		大阪長野	白井 公子		西中国部	広島	山下 裕子
	名古屋グランパス	クラブ会長		大阪泉北	佐々木 貞子			福山	クラブ会長
	津	千賀 さわ子		和歌山紀の川	永井 由紀子			呉	下坊 和幸
	金沢犀川	クラブ会長		中西部	大阪			脇本 真知子	東広島
びわこ部	近江八幡	平田 美代子	大阪土佐堀		北村 京子	岩国		クラブ会長	
	彦根	宮本 年博	大阪千里		井上 巖	岩国みなみ		高瀬 茜	
	彦根シャトー	山本 洋司	大阪高槻		大谷 勝彦	九州部		長崎	桑原 百合子
	長浜	中川 広栄	大阪センテニアル		坂本 千春			熊本	吉本 典子
	草津	一井 勢津子	大阪西		畠平 恵子			北九州	松田 四治
	滋賀蒲生野	菅井 恵子	大阪茨木		掛谷 太郎		福岡中央	大浦 京子	
	大津	岡田 定一	大阪セントラル		林 恵美子		熊本ジェーンズ	金澤 郁子	
	京都部	京都	多賀 久貴		大阪なかのしま		今井 利子	博多オーシャン	クラブ会長
		福知山	堀 京子	六甲部	神戸		井出 富光子	八代	守田 涼子
京都パレス		平野 雅幸	西宮		山口 まり子		鹿児島	中松 穂子	
京都ウエスト		福田 仁美	神戸西		宮田 泰子		熊本むさし	吉岡 満子	
京都めいぷる		馬場 悦子	神戸ポート		丹羽 和子	熊本みなみ	寺岡 節子		
京都キャピタル		菅原 由利子	宝塚		今田 和子	宮崎	クラブ会長		
京都プリンス		飯尾 牧子	さんだ		安行 暁子	熊本ひがし	横田 治美		
京都センチュリー		大槻 美栄子	神戸学園都市		宗利 富士子	阿蘇	クラブ会長		
京都ウイング		岸本 伸也	芦屋		福原 美鈴	熊本にし	水元 留美		
京都洛中		山中 真理子				熊本ヤング	クラブ会長		
京都エイブル		上澤 正廣			熊本スピリット	クラブ会長			
京都グローバル		橋本 達士							
京都みやび		武本 聡							
京都トップス		舞田 理絵							
京都トゥービー		水野 充弘							
京都東陵		高間 正夫							
京都ウエル		松田 博一							
京都ZERO		河村 栄二							

メネット事業主査

部	氏名	所属クラブ	部	氏名	所属クラブ
中部	山内 ミハル	金沢	六甲部	大野 智恵	神戸ポート
びわこ部	山本 洋司	彦根シャトー	瀬戸山陰部	山根 博子	鳥取
京都部	国松 和子	京都トゥービー	西中国部	赤羽 秀美	広島
阪和部	土橋 哲	和歌山	九州部	亀浦 尚子	熊本にし
中西部	林 恵美子	大阪セントラル			

編集後記

新しい年がスタートし、メネット報第2号をお届けする時期となりました。

各部においてメネット事業主査様のお力添えで、充実したメネット活動が展開されている様子がうかがえ、大変嬉しく思っております。下半期も、メネットらしい感性でワイズ活動に、力と花を添えてまいりましょう!

メネット事業委員会

メネット事業主任 西村 寛子(京都プリンス)
直前メネット事業主任 谷本 久美子(東広島)
次期メネット事業主任 遠藤 典子(大阪泉北)

メネット事業キャビネット

書記 永濱 佳恵(京都プリンス)
会計 森 節子(京都プリンス)